

～ 和田支所・市民センター整備方針説明会を開催 ～

令和3年10月27日に、“和田支所・市民センター整備方針説明会”を和田小学校体育館で開催しました。

地域からは21名の出席があり、冒頭、市長が整備方針を説明し、1名の方から主にハザードマップに関連したご意見をいただきました。



■整備方針の背景

- ≫ 現支所・市民センターは、老朽化・非耐震・土砂災害特別警戒区域等への立地など、安全・安心面で課題がある
- ≫ 新たな支所・市民センターの整備地は、より安全・安心な場所とすべきである
- ≫ 米光での整備を進めるとしても、土地取得から供用開始までの手続きなどで、相当の時間を要する

■整備方針の内容

これまでの協議内容や老人クラブ連合会和田クラブからの陳情、7月6日の意見交換会での出席者の意見等を踏まえ、市としての整備方針を次のとおり決定。

・現支所・市民センターの危険性解消
 ・安全・安心な整備候補地を継続して協議・検討

新たな支所・市民センターの整備完了までの
 暫定措置として旧和田中学校を活用

■地域の皆様との今後の取組み

- ・旧和田中学校は、想定最大規模降雨時等には避難所として利用できないことから、地域の皆様による災害時等の行動計画（地区防災計画）の策定の検討
- ・旧和田中学校は、当面の暫定措置として、現状利用を基本に必要最低限での整備を検討
- ・安全・安心の視点から、米光エリアを念頭に、新たな支所・市民センターの整備候補地を継続して協議

【旧和田中学校の概要】



建築年	昭和62年（普通教室棟）
構造	鉄筋コンクリート造2階建（耐震性あり）
床面積	1,560㎡
災害想定	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流） ・洪水浸水想定区域（3～5m未満） ・土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

～ 第 14 回和田地域モデル事業協議会開催を開催 ～

12月1日に、“和田地域モデル事業協議会”を和田市民センターで開催しました。

〔出席：和田の里づくり推進協議会「プロジェクトW」：17名、市職員：7名〕

■出席者から出されたご意見

新たな支所・市民センターの整備については、出席された全ての方にご発言いただき、ほとんどの方から「米光エリアでの早期整備」を望むご意見をいただきました。

旧和田中学校の暫定活用については、市から、1階を活用した部屋の配置案などを説明した後、備品の保管場所やバリアフリートイレなどについてご意見をいただきました。



〔主な意見：新たな支所・市民センターの整備〕

- 何度も協議を重ねているので、今後も意見を聞くというのは、時間がかかる。市が米光と言うのなら、行政主導で候補地を決定し、早く米光に作ってほしい。
- 現支所・市民センターが危険であるというのは、以前からあった話。差し迫る危険があるからという理由で氾濫流が予想される旧中学校を暫定活用するというのは理解できない。
- 埽エリアに整備する場所があれば良いが、適する民有地はないと思う。
- 陳情の時は、現地での整備が良いと思っていたが、安全・安心ということであれば、今は、米光での整備がベストと考えている。
- 安全・安心と言われるなら、米光でも良いが、旧中学校が寂れてしまうので、有効利用してほしい。
- 少なくとも数年は、埽エリアに支所が残る。中学校への移転をプラスに考えたい。

〔主な意見：旧和田中学校への暫定活用〕

- 現市民センターは、イベント等でも使いたいので、暫定措置の間は残してほしい。
- 洪水が想定されているのに、旧中学校の1階しか使用しないのは問題である。暫定期間中に被害がないように、安全を第一に対策を考えてほしい。
- 現市民センターには、外部団体の備品も置いている。これらを保管する場所が必要。
- 旧中学校の改装にあたり、バリアフリートイレは必須である。
- 現支所・市民センターと同様、土足で入館できるようにしてほしい。

■協議会を踏まえての今後

市では、旧和田中学校での整備内容を早急に確定し、令和4年度からの改修と、早期の供用開始に向けて取り組んでまいります。

また、移設後に検討する新たな支所・市民センターの整備候補地については、本市提案の米光を念頭に置きながら、地域の皆様との協議の中で、あらためて市として判断いたします。